



**山梨交通株式会社**  
 ●本社 〒400-0035 山梨県甲府市飯田3丁目2-34  
 TEL 055-223-0821  
 ●公式サイト <http://yamanashikotsu.co.jp/>

■ 社長訓示

平成29年度 山梨交通グループ 運輸安全マネジメント全体研修会

# 山梨交通、安全への取り組み

## — 運輸安全マネジメント研修会レポート

バス事業、タクシー事業、トラベル事業、自動車学校などを展開する山梨交通グループ。業務内容は幅広いですが、一貫してそこにあるのは、「お客さまを目的地まで安全に送り届ける」という使命です。毎年行われている「運輸安全マネジメント研修会」取材して、山梨交通グループの安全意識とその取り組みに迫ってみました。



### さまざまなテーマに基づく研修会

2月8日～11日、甲斐市の敷島総合文化会館において、「平成29年度 山梨交通グループ運輸安全マネジメント全体研修会」と題された会合が行われました。4日間にわたる研修会には、運輸部門社員約330人が参加します。グループ会社のバス、タクシーの全乗務員を対象としています。

これは、山梨交通グループでは毎年恒例の光景。今年は冒頭で、昨年6月に社長に就任した雨宮正英さんの訓示がありました。

山梨交通グループでは現在、タクシーブランドの一本化などを含めた、事業の再編と統合が進んでいます。雨宮さんは、そんななかで、グループ全体として連帯感を高める必要性を強調しました。バス事業とタクシー事業の人間は、グループが同じでも、あまり顔を合わせる機会がありません。この研修会のような機会を使って、同じ会社、同じグループの仲間なんだということ意識してもらいたいというのが社長の願いです。

研修会の内容は、さまざまな分野にわたります。もちろん、「運輸安全マネジメント」研修会と銘打つだけあって、安全意識に訴える研修、実技研修なども行われますが、そのほかにも、三井住友海上火災保険の方を招いての「接客サービスについて」、大塚製薬の方を招いての「働き世代の栄養学」、日本赤十字社山梨県支部の方による「救急法短期講習」などなど。山梨交通総務課による「自動車運転者の



■ 総務課からの研修

労働時間等の基準について」と題した労務関係の研修もあります。年によつては、警察や国土交通省の方を招いての講習もあるそうです。

つまり、単に「安全運転をしましょう」と言うだけでなく、そのためにひとりひとりが何をできるのかという観点に立ち、運輸安全に関係するさまざまな意識を全体として高めるといった研修会となっているのです。

### 「運輸安全マネジメント」とは？

研修会の後、社長の雨宮さんと、取締役・バス事業部担当の一瀬文仁さんにお話を聞きました。

「そもそも、「運輸安全マネジメント」というのは、平成18年に国土交通省の主導で作られた言葉です。平成17年に、福知山線脱線事故をはじめ、ヒューマンエラーによる公共交通の事故が続いたことを受けてのものでした」と一瀬さん。

### 「安全は全てに優先する」意識を

山梨交通の安全方針スローガンは、「安全は全てに優先する」というもの。

「社長として、事業の採算や、社員のモチベーションの向上など、考えなければならぬことはたくさんあります。しかし、それら全てに優先するのが「安全」であり、「安全」という土台あってこそ、私たちがであるということです」と雨宮さん。雨宮さんは、30年くらい前に、社内で事故防止の担当係をしていました。今回の研修会でも行われた救急法の講習は、その頃からずっと考えていたことのひとつなのだから。

「もちろん、バスやタクシーの運転士なら、救急法の知識は持っています。しかし、実際に講習を受けると受けられないと、いざという時にスムーズに対応できるかどうかという違いが出ると思います。」



■ 社長の雨宮正英さん

国民に信頼される輸送サービスの実現には「輸送の安全確保」が不可欠であり、輸送サービスを手がける企業にはそれを管理する責任がある、という考えのもと、輸送の安全性を向上させることを目的として事業者自らが行う安全管理体制の構築、それが「運輸安全マネジメント」です。そしてそこには、経営トップから現場まで一丸となった体制が要求されています。「簡単に言つと、人任せにしているはダメ、全ての社員が事故防止のことを考えなさい、ということなんです」

国土交通省の方針を受けて、運輸業界では運輸安全マネジメントが徹底されるようになり、交通各社でも運輸安全マネジメントに関する研修や対策が行われるようになりました。

「山梨交通では、昭和の時代から安全管理のための研修会は各社各営業所ごとに行ってきました。今のような全体研修会という形になったのは、平成15年からのことです」

国が本腰を入れる何年も前から、山梨交通では独自の取り組みを見せていたことになりました。



■ 取締役・バス事業部担当の一瀬文仁さん



■ 社内に掲げられた安全方針スローガン

「安全は全てに優先」との意識があつて、はじめて「運輸安全マネジメント」は成立すると言えるでしょう。

「山梨交通でも、安全対策に関しては、以前は「安全管理係」が担当していましたが、現在では、「安全運輸マネジメント会議」で決めていくようになりました。その内容については公式サイトで公開して、広くみなさんに知っていただけるようになっています」

